

市民と議会を結ぶ架け橋

# 議会 上野原市 だより

No. 61

令和2年  
5月発行

## 3月定例会



**特集**

うえのはらで頑張る人  
**日大明誠高校生徒会**

特集	2
議長あいさつ・議会の構成	4
定例会で決まった主なこと	6
会期中の審査	8
予算特別委員会	9
議決結果等一覧表	12
一般質問	14
閉会中の委員会の活動	18
意見交換会その後	19
市民の声	20



## うえのはらで頑張る人 Vol.14 日大明誠高校生徒会



サッカー部が全国大会に行き、ダンス部は全国大会準優勝に輝いた日大明誠高校。1000名を超える生徒が学んでいます。その中で学校行事の中心となり、和やかに活発に活動している生徒会のみなさんのお話を聞いてきました。

先輩にあこがれていました  
地域の活動にもっと参加したい

### 明誠高校を選んだ理由は

- オープンスクールで生徒主体の学校だと思いました。
- 日大は色々な学科があるため高校に入ってからやりたいことが決められるかなと思いました。
- 自然に囲まれているからです。東京の学校じゃまずありえない。

### どこから通学しているの

- 生徒会のメンバーは府中市、日野市、西八王子などほとんどが東京からです。
- 上野原市内はいませんが、大月市は一人います。



- 家から2時間弱かかり慣れれば大丈夫なんです。が、やはり遠いというか、電車の本数が少ないので時間がかかります。

■ 私は1時間弱くらいで直通で来れるので慣れました。



### 上野原はどつですか

- 上野原は通学するまで来たことはありません(全員)。
- 電車の数が少ないと思いました。
- 人混みがダメなんで始業一時間前に来るようにしているのですが、それでも通勤・通学者が多いです。
- 今まで高尾までしか来たことがなく、凄く新鮮に感じました。
- 下校するのが夜の7時くらいなんです、すごく星がきれいで感動しました。

### 生徒会って？

- 選挙で会長1名、副会長2名を決め、後は希望者です。9月から一年任期でスタートします。
- 現在は、1年生12人、2年生12人の24名です。
- 生徒会の中でも本部役員は、学校行事の企画・運営が主で、6月の文化祭、10月の体育祭、1月2月に行われる入試の手伝いです。今は予餞会の準備中です。



■ 文化祭で酒まんじゅうやせいだのたまじ、あんどうなつの販売を行い、地元を盛り上げようという活動もしています。

### 毎年、山梨県

- 議会の高校生議会に参加しています。
- 地域の活動には要望があれば積極的に参加していきたいです。
- オープンスクールや入試の時間に面接の待ち時間にお手伝いをして先輩の姿を見てあこがれて生徒会に参加しました。



### 卒業後の進路は

- 6月に文化祭が控えているためその事で頭がいっぱいですので、文化祭が終了したら考えていきたいと思っています。
- 将来舞台などの裏方の仕事をしたいので生徒会での活動を活かしたいです。



■ 高校受験という大きな山場を終えた1年生なのでまだです。それでも進学を考えていて理学部のどこかにいきたいです。

### 市議会や市に要望は

- 現在、文化祭のポスターを市役所に掲示してもらっていて凄くありがたいです。要望としてはもっと文化祭や体育祭等の行事をPRしていただき、多くの方に学校を見に来てもらいたいです。

### 先生からも一言



■ 山梨県内や地元上野原市内に住んでいる子は少ないのですが、ここ最近文化祭で、せいだのたまじや酒まんじゅうを売りに来てもらったりしています。上野原にお世話になっている学校なので、もっと地元とのつながりを持てるような活動を広げられたらいいなと思っています。

### 取材を終えて

上野原市在住の生徒が少ないのでなかなか交流は難しいのかなと思っていましたが、生徒も先生ももっと地元とつながりを持ちたいと願っていることに驚きました。学校としても地元から生徒を迎えたいという思いがあり、地元でも高校生の力を借りたいという関係は期待できるのではないのでしょうか。



川島秀夫議長



岡部幸喜副議長

## 議長就任のあいさつ

議長 川島秀夫

議長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

上野原市は、全国自治体同様人口減と少子化に歯止めが  
かからず、苦慮対策に迫られています。この状況打破に向  
け、行政・議会はもとより市民の皆様の叡智を集約し、市  
を挙げて山積する課題に取り組んでいます。

昨年は、度重なる大型台風による被害、今年は、新年早々  
からの新型コロナウイルス感染対策など、喫緊のリスク対  
策へ益々課題山積であります。

一方で、間もなく開通する談合坂スマートインター、そ  
して四方津駅バリアフリー化工事着工等々、住みよいまち  
づくりが着々と進んでいます。

この重要な時期、議長職責を重く受け止めています。市  
民の皆様方の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げ、議  
長就任のご挨拶とさせていただきます。



## 総務産業常任委員会

小俣 修  
尾形 重寅

杉本 友栄  
○山口 薫

杉本 公文  
◎東山 洋昭

白鳥 純雄  
岡部 幸喜

# 議会の構成



## 文教厚生常任委員会

川島 秀夫 長田喜巳夫 内田 倫弘 川田 好博  
尾形 幸召 ◎遠藤美智子 ○八木 一雄 山口 好昭



## 議会だより 編集常任委員会

山口 薫 内田 倫弘 八木 一雄  
遠藤美智子 ◎川田 好博 ○白鳥 純雄



## 議会運営委員会

小俣 修 長田喜巳夫 尾形 幸召  
○尾形 重寅 ◎山口 好昭 杉本 友栄

## まちづくり特別委員会

◎小俣 修	○八木 一雄	
<b>第1分科会</b>	白鳥 純雄	遠藤美智子
川田 好博	小俣 修	山口 好昭
尾形 幸召	岡部 幸喜	尾形 重寅
<b>第2分科会</b>	内田 倫弘	八木 一雄
山口 薫	東山 洋昭	長田喜巳夫
杉本 公文	杉本 友栄	

## 議会活性化特別委員会

◎杉本 友栄	○東山 洋昭	○長田喜巳夫
内田 倫弘	八木 一雄	山口 薫
白鳥 純雄	遠藤美智子	川田 好博
小俣 修	杉本 公文	山口 好昭
尾形 幸召	岡部 幸喜	尾形 重寅

各委員会 ◎：委員長 ○：副委員長

## 3月定例会

### 定例会で決まった 主なこと

令和2年第1回定例会が2月27日から3月31日までの34日間の日程で開かれました。

#### 審議された議案

市長提出議案	52件
請願	2件
計	54件

※議案名・議決結果等は12・13ページをご覧ください。

## 条例制定

**職員の損害賠償責任は  
限度額以上が免責されます**

議長第1号 上野原市市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定について

市長等が市に対して負うべき損害賠償責任の限度額を決め、それ以上は免責とするものです。善意でかつ重大な過失がないという条件があります。限度額は市長は基準給与総額の6倍、副市長などは4倍、消防長などは2倍、その他の職員は1倍と決められています。今年の4月からの適用で、現在係争中の事案については当てはまりません。

## 条例制定

**簡易水道事業13組合の給水料金項目を  
水質管理手数料に変更**

議長第10号 上野原市上野原簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

簡易水道組合13組合には、給水料金を現在「塩素使用料」の名目で費用を一戸当たり650円/1カ月を4期に分けて徴収しているが、その徴収内容が不正確なため、他の小規模水道組合と同様に「水質管理手数料」徴収条例に沿った内容に変更するためです。尚、料金の改定はありません。

## 条例制定

**教職員住宅  
教職員以外も利用可能に**

議長第13号 上野原市教職員住宅条例の一部を改正する条例制定について

教職員住宅の利用促進を図るため、入居者資格を見直し、教職員以外の入居ができるようにし、老朽化により利用が不可能な教職員住宅を解体したので条例から削除するために改正します。



議案第16号 令和元年度上野原市一般会計補正予算（第7号）

正算  
補予

上野原中体育館大規模修繕など  
3億2418万3千円の予算計上

■学校施設環境改善交付金事業費

上野原中体育館大規模修繕 2億199万2千円

■GIGAスクール構想事業費

学校校内LAN整備と一人一台の端末購入

1億262万7千円

■スマートIC関連事業費

案内標識設置工事費 5010万円

改良工事負担金 1億1000万円

■地域交通対策費

生活バス維持費補助金 2721万2千円

■学童保育事業費

ありんこ第3クラブのエアコン修繕 70万5千円

議案第51号 令和元年度上野原市一般会計補正予算（第8号）

正算  
補予

新型コロナウイルス対策に  
673万9千円の予算計上

小中学校・保育所・こども園・病院などの消耗品（マスクなど）、医薬材料費（消毒用エタノールなど）購入や秋山温泉等の休業補償などの予算が計上されました。

■消耗品費

52万円

■医薬材料費

70万2千円

■休業補償

550万5千円

議案第44号 上野原市教育委員会教育長の任命の同意について

議案第45号～47号 上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について

議案第50号 人権擁護委員候補者の推薦について

人事  
案件

教育長・固定資産評価審査委員・人権擁護委員を同意・推薦

教育委員会教育長

野崎 広仁 氏

固定資産評価審査委員会委員

梶原 正明 氏

杉本 茂 氏

青木 光昭 氏

人権擁護委員

菊池 康子 氏

請願第1号 国に対し「消費税率5%への引下げを求める意見書」の提出を求める請願

請願第2号 治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を国に求める請願

請願

「消費税率5%への引下げを求める請願」「治安維持法犠牲者国家賠償法を求める請願」いずれも不採択

請願1号「消費税率を5%に引き下げを求める意見書の提出」、請願2号「治安維持法犠牲者国家賠償法の制定」は総務産業常任委員会に付託されました。請願1号は採択すべきもの、請願2号は不採択とすべきものとなりましたが、本会議ではいずれも不採択となりました。

総務産業常任委員会

委員長 昭雄  
 委員 山口 純  
 副委員長 山本 友幸  
 委員 東山 文栄  
 委員 白鳥 公喜  
 委員 小杉 本重  
 委員 杉本 幸重  
 委員 岡部 重  
 委員 尾形 重

対象外です。

3月2日、委員会を開催し、付託された条例制定9件、請願2件を審査しました。主な質疑、答弁を要約してお伝えします。

【審査結果】

9案件中8案件は、いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案第1号「市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定について」は、市長等が市に対して負うべき損害賠償責任について、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、当該賠償責任にかかる負担額を条例で定める額に限定し、それ以上の額を免責するものです。

議案第1号は、異議があり起立採決した結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

次に、請願第1号と請願第2号について審査を行い、両方とも異議があり起立採決した結果、第1号は賛成多数で採択、第2号は反対多数で不採択とすべきものと決定しました。

**Q 重・軽過失かの判断は誰がし、現在係争中の案件は対象になるのか。**

**A 重・軽過失の判断は裁判所が行います。軽過失と判断された場合に今回の条例が適用されます。条例の施行日は令和2年4月1日、施行期日以後の行為が対象となるため、現在の案件は**



市役所玄関

文教厚生常任委員会

委員長 智子  
 委員 藤原 雄  
 副委員長 八木 弘  
 委員 内田 倫博  
 委員 川島 好昭  
 委員 山口 好巳  
 委員 山田 喜昭  
 委員 長田 幸昭  
 委員 尾形 幸昭

3月2日、委員会を開催し、付託された条例制定6件、損害賠償の額を定めることについて1件を審査いたしました。

議案第11号「上野原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について」は、放課後児童支援員の研修終了に係る経過措置について、令和4年3月31日まで延長するものです。

意見

「入居可能な市営住宅は限られている。生活困窮者の一時的なセーフティネットの意味合いから、利活用を考えてほしい。」

**Q 現在、支援員は何名いるのか、研修期間は。**

**A 支援員は、令和2年4月の見込み数19名で、支援員を補助するアルバイトもいます。研修期間は6日間で1コースとなっています。**

審査の結果、計7議案について、いずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。

意見

県に、研修を受講できる上野原市の枠を増やしてもらえよう要望してほしい。

議案第13号「上野原市教職員住宅の一部を改正する条例制定



ハッ沢教職員住宅



予算特別委員会

令和2年度の予算を審査しました

議長を除く15名で予算特別委員会が設置されました。これから1年間、予算の審査を行います。

3月4日、6日、9日の三日間、令和2年度予算の審査を行いました。私たちの暮らしにかかわる項目の質疑の要旨を載せます。



副委員長 白鳥純雄



委員長 長田喜巳夫

一般会計

104億4432万2千円  
(前年度比 3億7400万9千円増)

特別会計(16会計)

72億9977万6千円  
(前年度比 1億1141万円増)

予算特別委員会

- 委員長 長田喜巳夫
- 副委員長 白鳥 純雄
- 委員 内田 倫弘 八木 一雄 山口 薫
- 遠藤美智子 川田 好博 東山 洋昭
- 小俣 修 杉本 公文 山口 好昭
- 杉本 友栄 尾形 幸召 岡部 幸喜
- 尾形 重寅



質問と答弁

森林環境贈与税について

- Q 森林環境譲与税の用途目的は。
- A 昨年より、森林所有者に維持管理の意向調査を行っています。令和2年度においても意向調査に720万円、林道の木伐採業務に200万円を計上しました。今後は、木材利用の促進、普及啓発を図っていく予定です。

法人市民税の減少

- Q 法人市民税が約5300万円、19.8%も下がった理由は。
- A 景気の状態と税率が10.6%から6.9%に下がりました。一方今まで県で徴収していた法人事業税の一部約1700万円が市に交付されるようになりました。また、国税の法人地方税の一部が、市町村に交付されていますが、法人市民税の減収分がまかなわれてるかは不透明です。

### 地域防災計画の改正

- Q** 地域防災計画の改正を業者に委託してあるが、その改正内容と実効性は。
- A** 市の実状に合う計画とするため、主に関係法令の整合性、組織変更への対応、資器材や備蓄品の数量、避難勧告(指示)の発令基準等について、各防災機関とも協議し、実効性のあるものにします。

### ハザードマップの更新・活用

- Q** ハザードマップの更新内容及び配布時について。
- A** ハザードマップは、県が行う土砂災害区域の地図の更新を待って6月に全戸配布します。更新内容には気象情報の見直し、警戒レベルを用いた避難情報の追記、施設・名称等の更新も含んでいます。小単位の集会へ出向くなど、なるべくきめ細かい単位で勉強する機会を設けていきたいと考えています。

### 化学消防車の更新

- Q** 更新する化学消防車は、もっと小型でも対応可能ではないか。
- A** 中央道への出勤もあり、より大きなタンクで水を積むことが必要となっています。



## 質問と答弁

### 消防・救急協力者に対する表彰

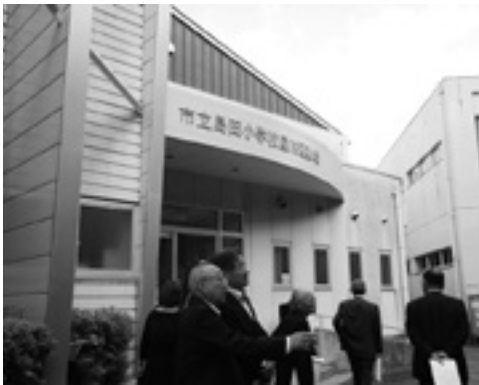
- Q** 初期消火や応急救護等を実施した民間協力者に対し、表彰できる体制として表彰規程を作っておくべきと思うが。
- A** 現在上野原市では、消防職員及び消防団員に対しての表彰規程は存在しています。
- 意見** 一般の表彰規程も作成が必要。

### 化学消防車購入の財政負担

- Q** 消防署用化学消防自動車を購入するが財政への負担は。
- A** 財政への負担を少なくするため、充当率75%、交付金算入率35%の防災対策事業債などを活用し、負担が少なくなるように努めています。

充当率：市債を発行する際、事業費のうち何%市債で賄うことができるか法令で決められています。これを充当率と言います。

交付税算入率：市債を償還する(返す)ときに、国から地方交付税が交付され、市の財政負担が軽くなることがあります。これを交付税算入率と言います。



島田学童保育所は現在体育館の中に

## ひきこもり問題は

Q 大人のひきこもり対策は

- A ① 令和2年度には専門員の「精神保健福祉士」2名を上野原市社会福祉協議会に配置し、強化します。
- ② ひきこもりなどの問題についても、精神保健の分野として対応することとし、その要因により必要な場合は「精神医療」につないだり、生活困窮の部署と連携するなど、「心の相談事業」として、きめ細かな対応をしています。

## 母子手帳アプリの登録状況

Q 昨年の導入から一年、登録状況は。

- A 2月現在で、1歳代が52人、2歳代が46人、妊婦さんを入れて204人、対象者の約52%が登録しています。今後も母子手帳アプリの機能について、健診等の各事業でご案内し、登録を呼びかけていきます。

## 島田小学童保育所建設

Q 島田学童保育所の建設予算が3400万円あるが。

- A 島田学童保育所（かぜのこクラブ）は現在体育館の一部を利用しています。設計はすでに終わっていますが、島田小正門近くの校庭に建設します。トイレも建物内に作るようになっています。

## 学校の水泳授業

Q 島田小の水泳授業を市民プールで行うがその他の学校は。また夏休みのプール開放の予定は。

- A 島田小の水泳授業は3年度以降も実施予定。秋山小中学校も秋山温泉で行う事を検討中で、その他の学校も今後、移動方法や使用コース等を指定管理者等と話し合う予定です。夏休みのプール開放は1校10回で行う予定です。

## 障がい者への相談対応は

Q 障がい者の「こころ」の相談は

- A 市では、上野原市社会福祉協議会に委託し「こころの問題」に関するお悩みについて、専門的な知識を持つ精神保健福祉士を中心に電話、対面、訪問など幅広く相談対応を行っています。

社会福祉法人  
上野原市社会福祉協議会





# 令和2年第1回定例会議決結果等一覧表

## ◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	案 件 名	付託委員会	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	小俣 修	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果		
1	上野原市市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定について	総務産業	○	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○		○	○	○	可決		
16	令和元年度一般会計補正予算(第7号)	—	○	○	○	○	○	◎	○	○		○	○	○		○	○	○			
23	令和2年度一般会計予算	予算特別	○	○	○	○	○	◎	○	○	議長	●	○	○	欠	○	○	○			
24	令和2年度国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	◎	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○
25	令和2年度後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	◎	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○
26	令和2年度介護保険特別会計予算		○	○	○	○	○	◎	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○
請1	国に対し「消費税率5%への引下げを求める意見書」の提出を求める請願	総務産業	●	●	○	○	●	○	●	●		○	●	○		●	●	●	不採択		
請2	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を国に求める請願		報告 原案					◎													

(注:「報告」は委員長報告、討論は委員長報告に対して行われます)

## ◆全会一致の議案

議案番号	案 件 名	付託委員会	審議結果
2	上野原市旅費等の特例に関する条例制定について	総務産業	可決
3	上野原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び上野原市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について		
4	上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について		
5	上野原市職員給与条例の一部を改正する条例制定について		
6	上野原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		
7	上野原市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定について		
8	上野原市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例制定について		
9	上野原市印鑑条例の一部を改正する条例制定について		
10	上野原市上野原簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について		
11	上野原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		
12	上野原市ホームヘルパー派遣手数料条例を廃止する条例制定について		
13	上野原市教職員住宅条例の一部を改正する条例制定について		
14	上野原市公民館条例の一部を改正する条例制定について		
15	上野原市文化財保護条例及び上野原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について		
17	令和元年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	—	
18	令和元年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	—	
19	令和元年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第4号)	—	
20	令和元年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	—	
21	令和元年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	—	
22	令和元年度上野原市大目財産区特別会計補正予算(第2号)	—	
27	令和2年度上野原市介護サービス事業特別会計予算	予算特別	
28	令和2年度上野原市公共下水道事業特別会計予算		
29	令和2年度上野原市簡易水道事業特別会計予算		

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

# 令和2年第1回定例会議決結果等一覧表

議案番号	案 件 名	付託委員会	審議結果
30	令和2年度上野原市教育奨励資金特別会計予算	予算特別	可決
31	令和2年度上野原市大目財産区特別会計予算		
32	令和2年度上野原市甲東財産区特別会計予算		
33	令和2年度上野原市巖財産区特別会計予算		
34	令和2年度上野原市島田財産区特別会計予算		
35	令和2年度上野原市上野原財産区特別会計予算		
36	令和2年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算		
37	令和2年度上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算		
38	令和2年度上野原市秋山財産区特別会計予算		
39	令和2年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算		
40	令和2年度上野原市病院事業会計予算		
41	上野原市猪丸辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	—	可決
42	上野原市寺下辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	—	
43	損害賠償の額を定めることについて	文教厚生	同意
44	上野原市教育委員会教育長の任命の同意について	—	
45	上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	—	
46	上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	—	
47	上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	—	
48	上野原市財産区管理委員会委員の選任の同意について	—	
49	上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任の同意について	—	
50	人権擁護委員候補者の推薦について	—	
51	令和元年度一般会計補正予算(第8号)	—	可決
52	市道神野栗谷線1災害復旧工事請負契約締結について	—	

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

## 一口メモ

### 財産区とは？

市町村の一部で財産を所有したり、公の施設をもうけているものを財産区と呼んでいます。昭和の大合併時の旧町村の所有を引き継いでいるものなどです。財産区が扱う財産は、山林や畑などです。他の自治体では、ため池、墓地、温泉、観光農園などを扱うこともあります。

財産区にかかる費用は財産区で賄う必要があります。上野原市では、財産区管理会を設けて財産区の管理をしています。財産区の予算や管理委員会員の選任は、市議会の議決事項となっています。

## 会期延長

### 新型コロナウイルス対策 31日まで会期を延長

新型コロナウイルス感染拡大により、本会議の開催が懸念され、本会議が開かれなくなった場合を想定して、会期を3月31日まで延長することを3月13日の本会議で決定しました。3月18日、予定通り本会議が開催できたので、同日3月議会は閉会となりました。

### 市民の安全確保のために 今出来ること



山口 薫

### 誰一人取り残さない 持続可能な上野原へ



遠藤美智子

質問

コロナウイルス感染の終息時期は現在不明で多面的な影響が出ています。市内の商店や民間企業も倒産の恐れもあり心配されます。市はどのような長期的見通しか。

意見

真の防災は温暖化防止にあると思います。プラスチックごみ対策も含め、世代間倫理として、私たち世代の責任で問題解決の道筋をつけるべきだと考えます。

答弁

国や県の対策の効果を見定めた中で、本市としても新たな対策を考えていきたいと思っています。

質問

一人暮らしの高齢者等は雨風が強い時は、近い所へ避難したいと言っています。地区防災計画で民間建物等へ避難できるよう計画に加えたらと思うが。

答弁

風雨が強まる前に早めの避難をお願いすると共に、指定避難所だけでなく、自宅又は近所の建物が安全であれば避難出来るよう柔軟な対応も考えていきます。

質問

百年に1度という異常気象が毎年起こり、世界中の科学者が温暖化は緊急事態だと発表し、国連もSDGsの推進やIPCCから気候変動の特別報告を発表しています。県も国土強靱化計画やCO2ゼロ運動で対策を呼び掛けています。市は令和2年度どの様な対策を実施する計画か。

答弁

県のパンフレット等の配布により、クールチョイス県民運動の普及と啓発に努め、市民に危機感と興味を持って頂くよう努めます。



説明

SDGsとは、2015年の国連の持続可能な開発サミットで採択され、2030年を目標として「誰一人取り残さない社会の構築」を基本理念としている。

質問

「被災者を誰一人取り残さない」とのSDGsの理念における要支援者の避難体制と、要支援者名簿に未登録の方の今後の対応は。

答弁

1月末現在の要支援者の対象者数は1617人で、783人が登録しています。同意に至っていない約800人の方には、改めて広報誌の周知や、区長・民生委員の協力を頂く中で、一人でも多くの同意者を増やしていきたいと思えます。

意見

防災時の「個別の避難計画」を作成しているとのことですが、自治会では個人情報取り扱いや担い手不足等の理由で、実際には遅々として個別計画が進んでいないのが現状です。大分県別府市では3年前から「災害時のケアプラン」を、ケアマネージャー等福祉の専門家の協力を得て、地域住民との話し合いの中で個別計画を作成している。当市でもこのような取り組みを参考にすべき。

質問

プラスチックごみが環境に与える影響は非常に大きい。環境保全のため、省エネ・プラスチックごみの削減など具体的な取り組みが必要ではないか。

答弁

ごみ対策推進協議会において、ご意見を聞く中で方向性を示していきたいと考えております。





談合坂SIC供用開始と周辺整備



尾形幸召

質問

市道、大野犬目線の台風災害復旧工事の現状と完成目標について。

答弁

旧大目小学校前の市道大野犬目線災害復旧工事につきましては、2月末に請負業者が決定し、完成工期は9月24日となっておりますが、現在、関係者と協議検討する中で、円滑に工事を進め1日でも早い復旧を目指します。

質問

県道、野田尻四方津停車場線の台風災害復旧工事の現状と完成目標について。

答弁

山梨県富士・東部建設事務所に確認したところ、当工事も入札を実施、3月工事着手の上、7月末が完成期日とのことでした。

質問

新田地区の仮称「花桃の里」植栽地の面積の拡大と管理手法について。

答弁

大野新田地区の皆様の協力のもと山梨県が整備した、上野原市唯一の眺望ポイントです。ポケットパーク周辺の雑木や植栽木を皆伐しこれまで300本の桜や花桃の植栽を行いました。平成28年11月1日から令和4年3月31日まで株式会社LIXIL住宅研究所と上野原市との間で大野新田地区をフィールドとする2万1687㎡の森林環境整備と交流活動を推進するため、花咲く森のプロジェクトに関する協定を締結しました。苗木の植栽、下刈り等、維持管理活動を年2回会社が取り組んでいます。



市民への安全安心

誇れるまちづくり



白鳥純雄

質問

昨年の台風19号で、小規模災害箇所など、未着手箇所への取り組みは。

答弁

台風後に遅れて被害が発生した箇所等についても、関係機関と協力し、早期に復旧できるよう努めます。

質問

新たな立地適正化計画の中で、道路整備計画への取り組みと、島田駐在所前交差点改良計画の現状は。

答弁

交通事情や歩行者の状況、建築物の立地状況、防災・防犯等の状況も勘案し、都市計画道路の計画路線の必要性について見極め、路線の見直しや幅員の見直しを行う予定。市道上新田諏訪線の道路拡幅工事と交差点改良については、関係機関と協議調整し、早期実現に向け取り組みます。令和2年度は、島田駐在所の移転を完成する予定です。

質問

上野原駅南口周辺と、総合福祉センターの年間維持管理費は。

答弁

平成30年度決算による維持管理費は、上野原駅南口駅前広場、882万8610円、地域活性化施設248万6082円、総合福祉センター、2140万4850円です。市民の安全性の確保、快適利用できるように維持管理に努めています。

他に、多様化に対する避難対策、市民連携と地域の繋がりが、人口減少の中での行政運営などについて質問しました。



人口減少とまちづくり



長田喜巳夫

質問

日本の合計特殊出生率は、1・42山梨県は1・53である。30年の数値ですが当市の状況は。

答弁

0・93です。

質問

20年～24年の平均出生率は1・19であり、今回は更に低くなっている。この現象をどう受け止め、また原因をどう考えるか。

答弁

人口を維持する水準は2・07であり現状は非常に厳しい状況で、5年後の目標を1・20に設定し、第2期の総合戦略の中で取り組みを進めます。原因は若い女性世代の転出に伴うものと考えています。

質問

第2期の総合戦略策定に伴いアンケート調査を実施している。転出する人の理由は「通学、転勤、就業」のためが70・8%と大半を占め、住みにくいと感ずる理由は「交通が不便」であるが84・6%などとなっている



この状況をどう受け止めるか。

答弁

四方津駅周辺のバリアフリー化整備事業を進め日常生活や交通ネットワークの利便性の確保を図り、持続可能なまちづくりを進めることが重要と考えています。

質問

今回の人口ビジョンによる社会減を2045年から均衡化するとしている。5年から10年先を展望すべきである。

答弁

社会保障人口問題研の推計値で設定したものであり、5年後に再度見直します。

質問

第1期の総合戦略の評価と課題は。

答弁

第2期に引き継ぎます。

出生率を上げるため  
交通・雇用・賃金の改善を



川田好博

質問

合計特殊出生率が下がっている要因は。

答弁

20代から30代の若者が転出することが一つです。

質問

合計特殊出生率は、近年国も県も上昇している。上野原市と類似団体で減少しているのは上野原も含めて4団体しかない。その原因は。今後よく検討していきたいと考えています。

答弁

「交通の便がいい」島田地区の風致地区を解除する考えはないか。

答弁

解除については、市民の意見が二分しています。必要性が生じた時には、有識者等の意見を聞きながら、再検討することになります。

意見

今後の問題ではなく、人口減少対策の緊急の課題だ。今から、開発の計画、規制の問題を検討すべきだ。通勤・通学に利用できる公共交通機関の整備が必要と思うが。



答弁

バス路線の減少と人口の減少の悪循環があります。利用者のニーズに合った交通網の形成に努めたい。

質問

雇用の確保のために既存の製造業・小売業についての支援が必要であると考えているか。

答弁

国の同意を受けて中小企業設備投資支援を行っております。

質問

山梨県の最低賃金の引上げが必要だと思うが。

答弁

賃金の問題についても、ハローワークや山梨労働局とも協議していきたいと考えています。

上野原こども園問題について  
建設用地の賃借料の支払い



杉本公文

質問

25年3月に旧市立病院跡地は、奈良前市長に返還されたが、4月1日から1年間用途は決まっていな中703万円で賃借契約されたが明確な目的のない不明瞭な支出は、地方財政法上において問題があるのでは。

答弁

料をなぜ受け取ったのかと言う質問に、貸す。借りるか。と言ったから受け取った旨証言しているが、これは事実か伺います。その件は、病院跡地であれだけの土地ということで奈良前市長側もどうするんだという話も当然あったでしょう。市側も子ども園計画もあつた訳ですから、その辺がはつきりするまで借りる判断をしました。返還後の借地料の支払いは不自然で適切ではない。

質問

公共施設の建設に当たり用地として確保する必要があつたため継続し賃借した。もう買うと分かつている土地を賃借する事には非常に問題がある。さらに、26年5月8日に2億5200万円で購入契約をしたが、継続して4ヶ月間、215万円を奈良前市長に支払つて

意見

いるがこの理由はなぜか。子ども園の最適地として土地を確保するため必要として賃借契約を結びました。売買契約を締結後までの借地料の支払いは問題だ。この事については、控訴審の証人尋問で奈良前市長は賃

質問

質問

他に、新型コロナウイルスへの対応と今後の見通しと方針を質問しました。

公共施設の共同利用について



東山洋昭

質問

当市と他自治体との協定内容、利用状況について伺います。

質問

公共施設の相互利用は相模原市と小菅村、丹波山村の1市2村と協定を締結して実施をしています。内容は、住民の福祉の向上を図ることを目的として、対象となる公の施設を住民と同料金で利用できます。利用状況は、市民プールや小菅村、丹波山村の温泉施設は人数をカウントしていないため把握し切れていない部分もございいますが、相当数の方がお互いの施設を利用して

質問

いるものと思われま。人口減少の中で利用率を高め、市民の健康増進、施設の経済的効果も期待される。相模原市・小菅村・丹波山村は協定済みであるが大月市との協定の考えは。現在締結をしています協定については、今後、なお一

層市民に十分な周知を行うなど、効率的に活用いただけよう一層取り組んで行く考えです。大月市との施設の相互利用については、これまで協議の場というのはありませんが、人口減少が続く中で、効率的な行政運営を推進するには、お互いが不足する施設を補いながら、市民サービスを提供することが、今後必要であると考えています。

他に、都市計画道路、市民への郷土愛の醸成と継続力、東京高裁判決、市の持続可能な発展のためについて質問しました。





## 文教厚生常任委員会

閉会中の継続調査として、2月5日「市内の文化財の現状について」旧平和中学校と旧大目小学校の文化財保管施設の視察調査を行いました。

始めに、全員協議会室にて担当からの説明を受けました。市内には、考古・民族・歴史に分類される人文系資料、蝶の標本の自然系資料、図面・写真の記録類があり、現在、考古資料を約5万2千点、民俗資料を547点、歴史資料を約2千7百点保管しているとのことでした。

文化財の保管については、指定文化財の大半は所有者が保管し、その内、寄贈されたものと未指定文化財は、社会教育課が保管しています。

**Q** 文化財の展示についてのどのよう

**A** 平成29年度策定の市教育振興計画において、常設展示を含めた文化財の公開・活用を目標に掲げているが、



旧平和中の視察

展示施設の整備は財政状況を考慮すると難しいため、文化ホール等既存施設を活用した展示会や見学会を開催していきたいと考えています。

今後は、常設展示を可能にする方策等、検討していくことを要望しました。

## まちづくり特別委員会

まちづくり特別委員会は、人口減少対策と市の活性化方策等を調査・検討するため令和元年6月定例会で設置されました。

「公共交通のあり方について」を主な議題とする第一分科会と「経済活性化と税収対策」を主な議題とする第二分科会に分かれて検討を進めてきました。

第一分科会では、デマンドタクシーの運行時間が短い、路線バスの赤字路線の補助金を改善すべき、スクールバスの活用ができないかなど委員からの意見に基づき、埼玉県飯能市に視察に行ってきました。飯能市では、路線バスを残しつつ、多角的アプローチで地域公共交通を確保していました。

- ・ スクールバスの混乗化
- ・ 路線バス・デマンドタクシーなど複合的に考える
- ・ 地域にあった公共交通を考える

などを考慮しつつ、当面デマンドタクシーの改善をめざすこ

とを提案しました。

第二分科会では、ふるさと納税について、返礼品を県産品を含めて検討すべきだとの意見が出るとともに、パラグライダーや乗馬など体験型返礼品を導入すれば、市に対する関心を高めることができるという提案がありました。また、高齢化の影響が顕著に現れている中心商店街の衰退が最も懸念されることから、この問題に取り組むことを決めています。



第一分科会 飯能市視察

## 市民のみなさんの要望

### 市から回答をいただきました

11月10日に行われた「市議会と市民の意見交換会」で、市民のみなさんから出された要望について、市側から提出された回答の要約を載せます。

■ 秋山地区の防災連絡網を再び無線化してもらいたい。

市からのお知らせは、行政防災無線、音声告知端末及び行政防災うえのはらメールなどを通じて提供しますので、利用可能な手段で情報の入手をお願いします。

危機管理室

■ 病院や市民課、福祉課といったところに手話ができる人を配置してほしい。

総合福祉センターに手話ができる職員がいます。そのほか、筆談での対応をお願いします。

総務課

■ 街灯費が、区費から拠出されているので、市で面倒をみてほしい。

現在、区で管理している防犯

灯は今後も区で維持管理をお願いします。尚、区管理の防犯灯について、少額ですが電気料と新設の器具代の一部を補助しています。

総務課

■ 光通信に関して、地域格差をなくしてほしい。

情報通信基盤整備事業により、「市内全域の光通信の整備」を完了いたしました。尚、民間事業者にも、光通信エリアの拡大を継続して要望しています。

総務課

■ 使用していない公共施設に研究施設や介護施設などを誘致して有効活用したらどうか。

今後にも利用可能と思われる施設については、効率的かつ有効的な利活用を検討していきます。

財政経営課

■ 秋山地区と都留市との間でデマンドタクシーが利用できるよう検討してほしい。

現状では、デマンドタクシーでの実現は難しいと考えていますが、他所管の車両の様子も確認しながら、交通事業者や都留市とも連携する中で、利便性の向上を図っていきます。

生活環境課

■ 認知症サポーターの役割を明確化するとともに、認知症に対する取組みを早急に進めてほしい。

来年度以降スキルアップ研修の開催、認知症に関わるボランティア活動への参加等活躍の機会を提案（提案）する予定です。

長寿介護課

■ 駅前の観光協会について、観光協会に加入してなくてもパンフレット等を掲示できるように検討してほしい。

観光事業の振興等の推進をよりいっそう図るため、掲示期間、掲示スペース等を考慮して取り組んでいきたいと思えます。

産業振興課

■ 民家の庭などを利用し、登山者向け駐車場を1日500円で貸出してはどうか。

近隣民家の敷地等のご理解、ご協力がいただけた際は、駐車場としての利用を検討して登山者の増加につなげていきたいと思えます。

産業振興課

■ 文化協会に加入してなくても、市役所で展示パネルを利用できるようにしてほしい。

今後は、市の備品として、展示パネルの所有を検討していきます。

社会教育課

■ 市では、郷土資料館についてどういう考えを持っているのか聞きたい。

既存施設を活用した文化財展示会等を毎年継続的に実施し、市の歴史文化を紹介しています。今後も資料館に代わる郷土資料展示の充実を図っていきます。

社会教育課

市 民

の 声

## 物作りに魅せられて

私は上野原で生まれ育ち、大倉地区で陶芸を生業としています。陶芸の修業をしていたのは、3月までNHKの朝の連続ドラマでの舞台で、タヌキの置物で有名な滋賀県信楽町です。そこで修業を重ねて全国各地の窯場を歩き、勉強を重ねたのち上野原の大倉で窯を開きました。子どもの頃より物を作る事が好きで、学校の友達や大人から誉められながら育った環境が、陶芸に進むきっかけとなりました。市内でも陶芸教室も行います。大倉窯での陶芸教室や、育成会行事でも利用できます。自分だけの茶碗・皿・コップなど自由に作れますので気軽にたずねてください。物作りと言いましても皆さんが好きな物や得意な物を作れば楽しく続けられると思います。私が今日まで続けているのは周囲の方々の理解と協力があったからです。これからも物作りの楽しさを伝えたいと思います。



大倉窯  
中村 三郎さん

## 6 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4 本会議 (初日) 傍聴可	5 議案調査	6
7	8 委員会 予算特別	9 議案調査	10 委員会 総務産業 文教厚生	11 議案調査	12 議案調査	13
14	15 本会議 一般質問 傍聴可	16 本会議 一般質問 傍聴可	17 本会議 一般質問 (予備日)	18 議案調査	19 本会議 (最終日) 傍聴可	20

### 議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。委員会の傍聴については委員長の許可が必要です。

### 託児サービスを ご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局 (62-3344) へお申し込みください。

議会だよりのQRコードです



### 編集 後記

新緑の候、心地よい季節となりました。年度末の忙しさも終わりを告げ、気持ちを新たにスタートと云う時、新型コロナの発生が社会全体に影響を与えています。国内でも小中高の一斉休業や各種行事の自粛。そして東京2020オリ・パラも1年延期になるなど現下の状況は、経済の停滞も相まって緊張感のある日々です。他国に比べ緩やかな感染率は、医療の質の高さと平素からの「うがい、手洗い、マスクの着用」などが習慣化されて清潔な環境を文化として整えていることが大きな要因と感じています。しかし乍ら油断は禁物。平穏な日常がいかに大事か、つくづく思い知らされる毎日です。(八木)

議会だより編集常任委員会  
委員長 川田 好博  
副委員長 白鳥 純雄  
委員 内田 倫弘  
委員 八木 一雄  
委員 山口 薫  
委員 遠藤美智子

